

令和7年度 施政方針

久保田崇市長は、市議会2月定例会において、令和7年度の施政方針を表明しました。その一部を紹介します。

※全文は市ホームページで公開しています。



はじめに

掛川市は、平成17年度の合併以降、20年間で人口が約4700人減少、高齢化率は9・5%増加し、28・7%となりました。この傾向は今後も続いていくものと推測されます。このことは、労働者不足や地域コミュニティの維持、空き家の増加など、市民の暮らしに広く影響するものと考えます。

しかし、このような状況だからこそ、未来に向けて前向きに歩みを進めていかなければなりません。市制20周年を迎える本年は、第3次総合計画の策定年度でもありますので、この2つを一連のプロジェクトと位置付け、掛川市の未来を描く重要な機会と捉えています。

総合計画の策定にあたっては、誰もが安全に安心して参画でき、さまざまな意見を取り入れながら、10年後のあるべき姿を明確にイメージした将来ビジョンを創り上げます。

困難な中であっても、前向きに、市民のみなさんとともに掛川市の発展に向けて全力で取り組んでまいります。

行政経営方針の基本的な考え方

- 誰もが自分らしく安全・安心に暮らせる社会の実現
- 選択的定住人口・関係人口・交流人口の増加

発展するまち」を目指して

2 お互いに学び高め合う機会の充実と、このまちを良くする担い手の育成

● 特色ある原野谷学園、城東学園小中一貫校の整備

● こどもの主体性や個性を尊重した学習の推進

● 地域まちづくり協議会などの活動支援、市内全域を生涯学習学びのキャンパスとして活用し、学びの場と地域を担う人材の育成を促進

● 全国に先駆け、令和8年度に部活動の地域展開

3 ゆとりを感じながら安心して子育てできる環境の充実

● こどもの居場所確保・充実事業

● こども家庭センターを集約、ワンストップ相談窓口を設置

● 22世紀の丘公園「たまりーな」に大型室内遊び場「mirocco（みろっく）」が7月にオープン

4 こどもから高齢者まで安心して暮らせる都市基盤の整備

● 公共交通対策（A I オンデマンド交通などの実証実験、令和8年の実装を目指す）

● 自助、共助および公助の底上げと避難所の環境改善

● 市民の安全・安心につながる防災、減災対策

● 市民の命を救う救急体制



- 人に優しいデジタルと共創
- インクルーシブ、グローバルな視点
- ブランド化
- 市民のシビックプライドの醸成
これらをキーワードとして、少子・高齢・多死社会であっても、『人と環境が持続し発展するまち』の実現に向かって、進化し続けるための成長アクセラを踏み込む年度としていきます。

令和7年度の重点施策 行政経営の6つの柱

1 魅力・活力・にぎわいを高め、掛川愛による定住・関係・交流人口を増加

- 市制20周年記念事業
- 空き家の利活用を促進、掛川市への移住をさらに増加、3城整備活用（横須賀城跡・高天神城跡の保存活用、掛川城周辺の活性化）
- 新エコポリス第3期事業の工事開始、花鳥園に隣接する南西郷地区の土地利用の検討
- 産業支援（創業、雇用の確保）
- 農業の高度化（有機農業産地づくりの推進、オーガニックビレッジ宣言や輸出支援、有機農産物・茶業・和栗など）

「人と環境が持続し

5 環境の持続可能性に向けた 資源エネルギーの循環利用促進

- ごみ減量・資源化促進（使用済み紙おむつや製品プラスチックの資源化に向けた取り組みを次のステージへステップアップ）
- 令和12年度の新廃棄物処理施設稼働への準備
- カーボンニュートラル実現に向けた取り組み（公共施設太陽光発電施設設置、中小企業等省エネ設備導入補助）

6 DXによる付加価値の高い 市民サービスの実現

- AIなどを活用し、行政手続きが簡単・便利に
- データに基づいて、市民のニーズに寄り添った施策を実現

おわりに

掛川市は、今後、新廃棄物処理施設や、小中一貫校の建設などにより数年間は厳しい財政状況が続く、歳出の引き締めや歳入の増加施策を堅実に実行する必要があります。

このような状況だからこそ、将来に向かってビジョンを描き、未来への投資を行う必要があります。持続可能で明るい将来に向かう計画を作り上げ、市民のみなさんとともに力を合わせて、掛川市の未来を切り拓いてまいります。

令和7年度 主な事業

祝 掛川市制20周年

— 20年の歩みに感謝し、共に創ろう掛川の未来を —



1 魅力・活力・にぎわいを高め、掛川愛による 定住・関係・交流人口を増加

・**新**空き家実態調査事業…………… 1,048万円

市内の空き家実態を把握することで、今後の空き家対策の方針決定や活用を促す施策を展開します。

・空き家除却、お片付け事業…………… 1,200万円

3 将棋のまちづくり

・**新**全国将棋サミット2025開催事業 400万円

・王将戦開催事業…………… 280万円

4 産業の振興

・**新**強い農業づくり交付金事業… 17億6,500万円

・高付加価値茶生産拡大推進事業…………… 2,450万円

有機栽培転換支援や被覆資材の購入補助を行い、有機栽培茶の生産拡大に繋げ、需要が拡大傾向にある海外輸出への対応を目指します。

・掛川栗プロジェクト支援事業…………… 500万円

1 市制20周年記念事業

合併から20年の歩みに感謝するとともに、まち全体の一体感を醸成して市民の誇りと愛着を高め、未来に向けて飛躍する新たな出発点とするため、さまざまな記念事業を展開します。

・**新**記念式典・記念イベント…………… 2,100万円

・**新**第3次総合計画策定事業…………… 2,000万円

・**新**(仮称)掛川だれでもスポーツチャレンジ 1,500万円

2 空き家対策事業

・**新**「空き家」子育て世代応援住宅事業 1,850万円

空き家の活用促進および若者などの移住・定住促進に資するため、市内の空き家を購入して定住する若者・子育て世帯に対し、取得費用の一部を助成します。

・**新**空き家活用モデル事業…………… 3,000万円

4 こどもから高齢者まで安心して暮らせる都市基盤の整備

1 バス交通などの対策

・**新**AI オンデマンド交通実証実験事業（共創・Ma a S実証プロジェクト）…………… 5,000万円
好きなときに、好きな場所へ行けるように、自主運行バスに代わる新たなモビリティサービスの実証実験を行います。

・**新**自主運行バス掛川大須賀線運行事業…………… 3,938万円

2 障がい者・障がい児支援

・**新**基幹相談支援センター事業…………… 547万円

3 インフラの整備など

・**海岸防災林強化事業**…………… 15億4,951万円
津波対策として、掛川モデル推進協議会や県等関係機関との協働による海岸防災林強化事業を推進し、防潮堤整備を進めます。

・**同報無線設備更新事業**…………… 6億9,905万円

・**防災資機材整備事業**…………… 5,915万円

・**消防車両整備事業**…………… 1億6,678万円

・**新**個人施行土地区画整理推進事業…………… 1億円



こども家庭センターイメージ

2 お互いに学び高め合う機会の充実と、このまちを良くする担い手の育成

1 新たな学校教育の創造

・**原野谷学園・城東学園小中一貫校整備事業**…………… 1億496万円

・**部活動地域展開推進事業**…………… 2,926万円

・**新**子ども第三の居場所開設事業…………… 5,000万円

こどもたちが安心して過ごせる環境で、自己肯定感、人や社会と関わる力、生活習慣、学習習慣など、将来の自立に向けて生き抜く力を育む場所を大東支所4階旧議場に設置します。

2 安全安心な教育環境の整備

・**新**ICT一人一台端末更新事業…………… 3億3,754万円

・**新**特別教室エアコン設置事業…………… 3,407万円

・**小**中学校トイレ洋式化推進事業…………… 1億500万円

3 ゆとりを感じながら安心して子育てできる環境の充実

1 子育て支援体制などの整備

・**新**こども家庭センター設置事業…………… 1億1,703万円

子育て支援体制や市民サービスの充実を図るとともに、多職種の連携強化を図るため、妊産婦・こども・子育て当事者の相談窓口を集約するこども家庭センターを徳育保健センターに新設します。

・**新**子どもの居場所確保・学習支援事業 106万円

・**放**課後児童健全育成事業（学童保育41クラブ）…………… 3億8,419万円

・**給**食費負担軽減事業（小中学校・保育所など）…………… 1億4,173万円

2 子育て関連制度の充実

・**子**ども医療助成事業…………… 7億6,984万円

・**結**婚新生活支援事業…………… 1,500万円

・**妊**婦のための支援給付金事業…………… 8,450万円

・**保**育士等就職応援資金貸付事業…………… 700万円



6 DXによる付加価値の高い市民サービスの実現

1 DXの普及促進

- ・**新**スモールモビリティ導入事業…… 1,000万円
- ・**新**手続き等支援ナビ導入事業…… 567万円
 複数の課を経由しなければならない手続きについて、必要な持ち物や担当部門を予めスマートフォンなどで確認や申請などができる案内システムを導入します。来庁後の手続きをスムーズに済ませられるように利便性の向上を図ります。
- ・**基幹業務システム標準化およびガバメントクラウド移行事業**…… 4億5,961万円
- ・**生成AI活用事業**…… 2,090万円
 生成AIサービスを活用し、掛川市独自の業務マニュアルなどを参照させることにより、業務の効率化や新しい取り組みの創出に繋げ、付加価値の高い行政サービスを提供します。
- ・**新**人流データ活用事業…… 660万円
 掛川市を訪れる観光客の市内動向や、まちなかイベント開催時などの人の流れが蓄積されたデータを分析・活用し、市の魅力を最大限に伝えるための観光施策の創出を図ります。



5 環境の持続可能性に向けた資源エネルギーの循環利用促進

1 脱炭素社会の推進とごみの減量、資源化

- ・使用済み紙おむつ資源化実証実験… 1,000万円
 環境の持続可能性に向け、更なるごみの減量と資源化を推進します。
- ・**新**製品プラスチック収集運搬処理事業 500万円
 更なるごみ減量と資源化を推進するため、資源化物の収集と適正な処理を行います。
- ・**公共施設太陽光発電設備等設置事業**…… 1億5,900万円
 脱炭素社会の構築を目指して再生可能エネルギーを利用する取り組みを進めます。
- ・**掛川市・菊川市衛生施設組合負担金**…… 17億654万円

2 持続可能な上下水道の保全

- ・上水道・簡易水道事業会計繰出金… 7,058万円
- ・合併浄化槽個人設置事業（420基）…… 1億8,382万円
- ・公共下水道・農業集落排水・浄化槽市町村設置推進事業会計繰出金…… 12億1,355万円

人と環境の持続・発展に 向けたまちづくり予算

問 財政課 (☎21-1197)

令和7年度 予算

日本経済は、日経平均株価が史上最高値を更新し、企業の賃上げと同様に消費者物価指数も上昇している中、掛川市では、出生者数の減少と死亡者数の増加が続き、本格的な少子・高齢・多死社会に突入しています。このような時代の変革期をチャンスと捉え、市民の豊かさと幸せを実感できる持続・発展が可能なまちづくりを目指し、未来に向かって進化し続けるための成長アクセルを踏み込む取り組みを進めます。

このようなことから、令和7年度は「人と環境の持続・発展に向けたまちづくり予算」とし、節目となる市制20周年において次世代を見据えた市民が住みやすい環境づくりを意識した予算編成としました。

予算規模

一般会計 607億2,000万円

(前年度比 50億5,000万円)

特別会計 246億6,816万円 (前年度比 6億1,709万円)

企業会計 98億3,582万円 (前年度比 △3億7,239万円)

【一般会計】行政運営の基本的な経費を網羅した会計

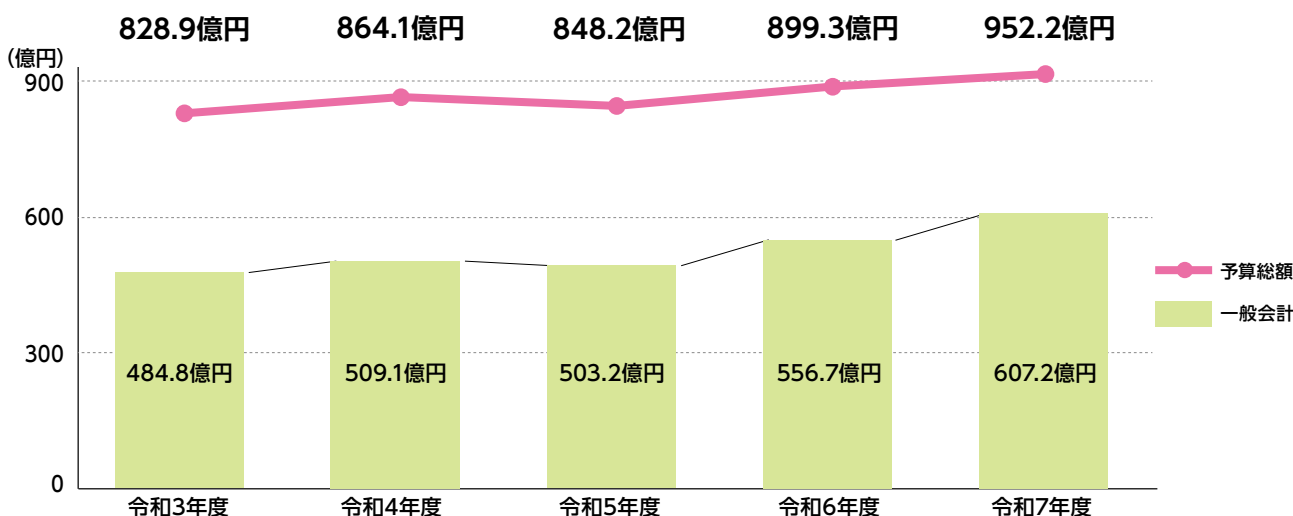
【特別会計】国民健康保険特別会計など、一般会計とは別に、独立した経費管理が行われる会計

【企業会計】水道事業会計など、地方公営企業法の適用を受け、市が運営する企業活動に係る会計

市の財政状況は、
ホームページからも
ご確認ください。



予算規模の推移



詳細はこちらから ▶

施政方針について



予算額について

